

発行令和二年三月

（あいつ）

支部長 岸本正憲

平素、同窓会支部活動にご支援を
たまり感謝申し上げます。令和元
年度の主な活動は左記のとおりで
す。ご協力ありがとうございました。

《主な活動》

一 支部総会【他支部招待】

◇東京支部 ◇埼玉支部

◇神奈川支部 ◇郵政会支部

二 女子長距離に活躍【支部応援】

◇関東女子駅伝大会（印西市）

◇全日本女子駅伝大会（仙台市）

三 台風罹災学生に見舞金

◇本県の被害甚大、支部規約に基
づき学生三名を見舞う。

四 学院歌 吟詠（学長の依頼事項）

◇大東アーカイブス収蔵（予定）

◇吟詠 木島里八氏（本・21・2）

◇吟詠の録音CDと学生時代の貴
重な写真二枚を学長に送付

五 第五一回千葉県人書作展

◇会場：「大東祭」【支部支援】

六 忘年会（十二月）

◇於：東天紅 【学生招待】

七 支部「会報」第一号 発行

今後ともよろしく願います。

【追記】

※臨時代議員会開催（一月二五日）

○同窓会名称の変更（議案一）

○同窓会則全面改定（議案二）

採決に至らず、プロジェクトチーム
で継続の審議を行う。

最終案を代議員会に諮る予定。

八月二四日、千葉市民会館会議室
で開催。会員多数が参加。他支部と
の交流の目的は支部活動の活性化を
図ることです。

初めての取り組みですが、前同窓
会長田中重太郎様、東京支部長菅原
勉様、副支部長浅野正男様、埼玉支
部長大石幸一様、山澄智英様、神奈
川支部長浦野賢三様、郵政会鈴木暉
之様の出席をいただきました。

【支部総会】

総会終了後、懇親会があり楽しい
「親睦・交流の会」となりました。

議案

一 平成三十年支部活動報告

二 平成三十年度決算報告並びに会
計監査報告承認

三 令和元年度支部活動（案）

四 令和元年度収支予算（案）

五 その他

*代議員選出（支部会員の代表）

副支部長 中村康孝氏

各議案とも承認されました。

同窓会千葉県支部を支える支部
役員さんの自己紹介コーナー

【支部長】

「一歩、一歩の前進」

岸本正憲（大―21―中）

昭和二五年生。福岡県出身。昭
和四四年入学。在学中は学友と書
に専念。卒業後、千葉県公立中学
校の教師となり定年退職。余暇は
学生時代の情熱で書学に勤しむ。

支部長として七年が経過。同窓
会活動の原点は「会員の親睦、学
生支援、母校の発展」であり、母
校の歴史を学び、微力ながら母校
の発展に尽力したいと思ひます。

【副支部長】

「母校の発展」

中村康孝（大―20―日）

和歌山県出身。書道の勉強のた
め上京し松井如流先生に師事しま
した。

大学卒業後は高校で書道教師と
して三八年間勤務しました。退職
して十年間、現在は私学の高校で
勤める傍ら書作品の制作を楽しむ
日々を過ごしています。支部総会
で同窓会の皆さんにお目にかかれ
ることを楽しみにしています。

【副支部長・事務局長】

「あつという間の四五年」

【副支部長】備中隆文（大・27・日）

愛媛県の松山商業高校を卒業して
フェンシングに夢中の大学生活だっ
た。おかげで体力はついたように思
える。

二五歳の時、中学校の教員となり
三五年間の教員生活を終えた。悠々
自適の新生活を夢見ていたがそれほ
ど甘くもなく、現在も植草学園大学
に勤務している。楽しい千葉県支部
を目指します。

【副支部長・事務局長】

「大東文化大学と私」

宮腰次也（大―25―経）

昭和四八年に入学、大東文化大学
郵政会に入会。現在、郵政会はあり
ませんが、特定郵便局長を中心に千
九百余名の卒業生がいます。昭和五
二年に卒業。神田小川町郵便局に採
用、平成一九年の郵政民営化でゆう
ちよ銀行に配属されました。

縁があつてか平成二七年に大東文
化大学がある高島平の板橋店で退職
を迎えることができました。

今の私があるのは大東文化大学の
お陰だと思っています。

定年退職後、恩返しと思つて同窓
会活動を行っています。

【書記幹事】

「新たな気持ちで」

山岸義夫（大―25―法）
昭和四八年入学。法学部第一期生。昭和五二年に卒業。就職先では法科の専門性を生かす。六年前に定年退職。退職後、同期生から同窓会加入を勧められ支部会員となる。代議員会は毎年参加、同窓会活動を少しでも実感したい。また時間に余裕があれば各種大会の先輩の活躍を応援し、自らも感動したい。

【書記幹事】

「母校へ新たな思いを」

加納玲子（大―24―中）
昨年は、この会のあり方を種々の視点から考える一年でした。その影響あつてか、東松山、板橋校舎へ足を運ぶ機会を得、あまりの変わりように、ただ驚くばかり。卒業生として、微力ながらも頑張っていきたいと思ひます。
よろしくご指導をお願いします。

【会計幹事】

「千葉県支部の活動に参加して」

森真由子（大―37―日）
私が同窓会千葉支部に顔を出すようになって十年、役員として関わって八年程経ちます。学生時代全く意

識していなかった同窓会の存在でしたが、熱心に学生を応援されている支部の諸先輩方の姿に接し、微力ながらお役にたてるように活動しています。

【会計監査】

「自由気ままに」

鈴木博雄（大―24―経）
四四年前に大学を卒業して、三八年間郵便局に勤務。定年退職してから六年、農業、みつばち、烏骨鶏と自由気ままに、ありのままに生活しています

【会計監査】

「同窓会に参加して」

千葉利郎（大―31―日）
昭和五四年に入学、五八年に卒業。以来、四十年の歳月が過ぎ去る。親元を初めて離れ、東松山の大学内にあつた学生寮に入寮した日を、昨日のように覚えていきます。
今年度の大東祭に出かけてみました。校舎内の作品展示、各種のコーナー、書道展、出店、舞台の演技など学生時代の懐かしさあり、楽しさを満喫です。

後輩の活躍を応援します。

【令和元年度 支部役員一欄】

役名	氏名	期別コード
支部長	岸本正憲	大21中
副支部長	中村康孝	大20日
副支部長	備中隆文	大27日
副支部長	宮腰次也	大25経
書記幹事	山岸義夫	大25法
書記幹事	加納玲子	大24中
会計幹事	森真由子	大37日
会計監査	鈴木博雄	大24経
会計監査	千葉利郎	大31日

* 事務局長 宮腰次也

【特別寄稿】

「東京支部総会」

支部長 菅原 勉

（大―23―経）

二〇一九年度支部総会、講演会・懇親会を令和元年六月三十日、ホテルメトロポリタンで開催しました。大阪支部長加藤博吉氏、千葉支部長岸本正憲氏、埼玉と千葉支部の会員有志の出席も頂き、事業報告、会計及び監査報告、新年度事業計画案、予算案を審議、承認を行い、役員の改選もスムーズに進み満場一致で改選されました。講演会は、古稀記念講演と題し、国際美術家、空間プロデューサーの高原普門氏（大―20―日）

が、原風景「学芸の巢立ち 大東文化大学」今日只今、芸術一筋、いのちがけ世界を翔る、歩み（一所懸命）在学時代の演題にて、様々な思い出を語って頂き、懇談会では、古き良き時代の思い出話が進み、和やかなうちに開きとなりました。



【特別寄稿】

「若く活動的な埼玉支部」

埼玉副支部長 萩原和子

（大―39―法）

全国有数の若い県・埼玉県には東松山校舎があり、支部会員数も全国有数です。若い会員の参加度合い、報交換の頻度、活動の幅の広さともに全国一だと自負しています。年数回の懇親会には二十代三十代の若手や現役学生も参加し和気藹々メールやLINEも使って随時情報

交換するとともに、会員への年賀状や書中見舞い状も欠かしません。

駅伝やラクビーなどのスポーツ応援に加え、書道展や「渋沢栄一『論語と算盤』読書会」などの文化活動にも、県境を越えて駆けつけています。

今年度の支部総会は十月に東松山校舎で開催しました。NHK「ブラタモリ」出演の宮瀧交二教授（歴史文化学科）の講演も併せて行い、大学の未来図を楽しく伺いました。

支部役員はみな現役で働いており、ムリはしないという方針だからこそ、温かで協力的な埼玉支部なのだと思えます。なお、役員には全学応援団の監督もおり、大東応援団の中心にすることも付け加えておきます。



【学生の活躍】

【第97回大東祭】

十一月三日、支部役員と現地で合同三四点を展示。学年構成は四年生四名、三年生七名、二年生三名、一年生七名である。八木橋祐介さんは代表としてのリーダーシップを発揮、またイベント会場の入り口でハンドマイクを片手に台風被害の募金活動に取り組む。その行動力と爽やかさに好感をもつ。



【第五十一回千葉県人書作展】

この書作展は本県出身の学生が主催。昨年度は第五十回記念書作展を船橋市民センターで開催し、支部会員の支部長、中村康孝氏も出品。

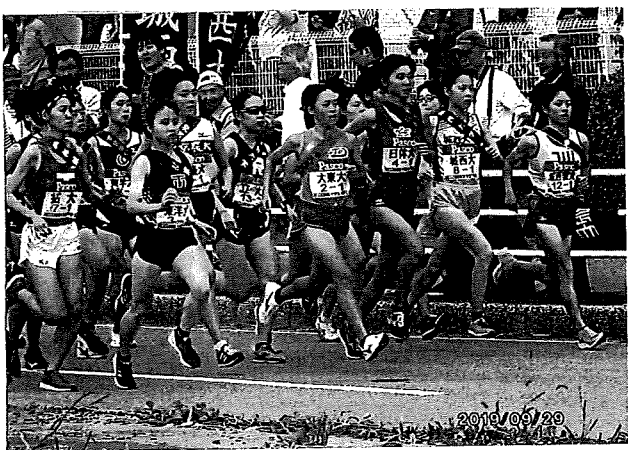
今年度、大東祭の期間中に本館の教室を利用。作品は練度の高い秀作三四点を展示。学年構成は四年生四名、三年生七名、二年生三名、一年生七名である。八木橋祐介さんは代表としてのリーダーシップを発揮、またイベント会場の入り口でハンドマイクを片手に台風被害の募金活動に取り組む。その行動力と爽やかさに好感をもつ。

立船橋）彼女は一年生次から注目の選手。各種大会で大活躍、記録保持者でもある。全日本女子駅伝は仙台陸上競技場をスタート、沿道の大声援を受け六区間を走り抜ける。外蘭監督は部創設十年目で最強のチームに仕上げた。二位に甘んじること六回、初優勝に挑む。あと一步、届かず、悲願の初優勝を逃がした。無念の涙、二位となる。来年こそVサイン、期待したい。



【女子長距離の活躍】

十月二七日、第三七回全日本女子駅伝対抗選手権大会（仙台市）開催。支部役員と現地で応援。その前の九月二九日開催の関東女子駅伝大会（千葉県印西市）は全日本女子駅伝のシード権争いの熾烈なレースを展開。大東文化は常に上位に入賞する。今年度の主将は関谷夏希さん。（茂原市出身、市



【全学応援団のこと】

スポーツの大東と言われるだけのことはある。数年前、門脇学長は賀詞交換会で学生の活躍がすばらしい。二〇二三年に創立百周年を迎え

る。その時は全ての部、サークルを優勝させたいと挨拶された。

この学生の大躍進を支えているのが全學應援團である。元太田学長は大東文化大学青桐会の大応援団と全學應援團は日本一と評された。

平成十五年、ロンドンオリンピック大会に本学の笠原選手がテコンドーで出場。その応援に全學應援團が訪英している。



【会員寄稿】

「漕ぎ出した 自分の世界」

中村康孝（大1201日）

書を愛する六人の仲間で開催する「グループ漕 書作展」の紹介です。メンバーは皆元高校の書道の教員で、定年後の新たな書活動に力強く漕ぎ出した六人の新作を展示します。今年は九回目の開催となります。

す。私は三回目から出品ですが、設立時からメンバーには石井希佳氏（大1211中）白井孝（大1221日）がいます。

この書展の主旨は「今までの自分・今の自分・これからの自分を静かに見つめて、仲間と語り合う場」です。メンバーは皆ご来場をいただきたい皆さんと語りあうことを楽しみにしています。

今年の日程は左記のとおりです。会場はJR稲毛駅すぐ側です。近くにお出かけされるようなことでもありましたらご覧ください。

◇会期：令和二年十月二十七日（火）

◇会場：こみなと稲毛ギャラリー



【会員寄稿】

「南房総の書文化の発展のために」

川嶋 充（大1211日）

南房総の書道人口は減少するばかりである。

と言つて、静観しているだけでは書の普及や隆盛は望めず、日本の伝統芸術の用と美を具備した書の伝承者など育成できる訳がない。

一念発起「房総の児童生徒選抜100人書道展」を設立した。

趣旨は房総から書文化を発信する若い力とエネルギーの発掘である。更に手書き文字の体験を通して自己発見と人間形成の一助に期待したいからである。

具体的に南房総地域に限定し児童生徒の作品を出品料無料で一人一点の半切作品を公募する。公募約500人から100人を選抜、軸表装（これは個人負担）して地元の展示施設で公開。新聞社にも紙上協力をいただいている。

選抜100人の作品から優秀審査は毎回招聘審査員に単独でお願いしている。この単独審査勿論書展の立ち上げから大東文化大学の同期生で、有岡俊崖、大橋修一、高木聖雨、永守蒼穹、山中翠谷氏には、理解と協力をいただき大きな支えであった。同期生とはなん

と嬉しい事かと痛切に感じている。私一人では微力ではあるが、同期の仲間や同窓のみなさんとともに書文化の発展に尽力したい。



【台風罹災者三名に見舞金】

熊本地震の翌年、支部規約の一部改定、「大規模災害時に義捐活動を「行い」を追認。昨秋、県内の台風被害は甚大。総務課、学生支援課で被害状況を確認。罹災証明書提出三名の学生に対応しました。

編集後記

会報第一号をお届けします。新型コロナウイルスで生活が一変です。感染予防にしましょう。会員皆さん、ご自愛ください。原稿依頼の快諾、深謝。（編集 岸本正憲）